

と も に

第79号

発行日：令和5年7月
編集：法人本部事務局



社会福祉法人 ひかりの園



永年在園者への感謝

目次

理事長就任・退任挨拶	2・3
静光園50周年	4～7
永年勤続表彰	7
新入職員のことば	8

根洗作業所40周年・新施設長紹介	9
寄付・法人研修大綱 他	10
私たち、ひかりの園の職員です。	11
支援のワンポイント	12

理事長就任にあたりまして

秋山 正和



昨年11月に社会福祉法人ひかりの園は、創立50年という大きな節目を迎えました。

川島前理事長より私に後任理事長のお話がありました。本法人はご承知の通り、平野先生、平出先生、山田修先生、カトリック浜松教会フロンティーマ神父様などの導きにより設立され、川島前理事長に継承されてきました。過去から現在に至るまでに関わってこられた多くの職員、関係の方々の情熱と並々ならぬ努力、注がれた愛情がこの50年を創り上げたものであります。

福祉施設の50年という永い年月は重く、非常に大きな意味を持つものです。社会における高い評価と信頼がなければ成りたたず、又この法人の種々の施設で働いて下さっている

多くの職員の方々に対する責任の大きさを考えますと拙い私には背負いきれないものであると思います。

然し、川島前理事長その他の役員の方々、施設長達との接触の機会もあり、本当に悩み深い中での結論でしたが、私は私でしかなく、今まで生かされてきた77年間の自分を素直に表現することならできるだけだろう、それで社会に恩返しできるのであれば、と思い、この任をお引き受け致しました。

今後私は、職員の方々から逆にいろいろ学ばせていただき、自身の学びの場としながら共にこの「ひかりの園」を育てて参りたいと思っております。

皆さんとの信頼の中で、共に「法人訓」の実践を目指すことが私の使命であり、主であるキリストの計らいであろうと理解しました。

山田修元理事長が選ばれた法人訓「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」は短かい言葉の中に、主キリストの目指した願いの全てが凝縮されていると思っております。

社会の片隅に置かれ小さくされている人た

ちに対して私達がやるべき行動は何かは、人として誰しも分かっていることであります。この「ひかりの園」に縁あって来られた子どもたち・ご高齢の方々・障がいのある人たちに私たちは心から寄り添いと優しい眼差しを持ち、逆にその方々から学ばせていただける感謝の心を持たなければ優しい気持ちにならないと思っております。

「ひかりの園」がここ浜松において最も心優しい、安心できる場所だよとご利用者から喜ばれる施設を目指して、私たちが心ひとつにして頑張る参りたいと思えます。

新緑の木漏れ日の中で：

令和5年6月



理事長を交替して

川島 順三



この度、令和5年6月をもちまして社会福祉法人ひかりの園理事長を退任することになりました。在任中は大変お世話になりました、ありがとうございました。

ご利用者の皆様、ご家族の皆様、関係者の皆様、そして職員の皆様のご協力に支えられ、この責務を果たすことができたと思っております。沢山の方々との出会いと多くの気づきによって、学びと実りに満ちた27年間でした。こうして任期を全うできました事は大きな喜びです。心より御礼申し上げます。

法人本部入口にある石碑の言葉に、私の座右の銘である『楽しみ喜び感動を求めて』を記させていただきました。人は本来楽しみ喜び感動を求めています、ともすると後回し

にして忘れてしまうものでもあると思います。しかし、日々の暮らしの中で心に留めておくことで、人生がより豊かな彩のあるものになると信じています。

これからしばらくは相談役として皆様と目にかかる機会もあるかと思えます。社会福祉法人ひかりの園のさらなる発展のため、微力ながら協力して参る所存です。

これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



静光園 50周年

社会福祉法人
ひかりの園
介護福祉施設
静光園



理事長挨拶
社会福祉法人ひかりの園理事長
川島 順三

令和5年5月21日、午前は法人役員や行政関係者、ボランティアなどが集まり「静光園開園50周年記念式典」が開催されました。午後には、開園50周年のお祝いと永年在園利用者を称え、ご利用者、ご家族、職員でお祝いをする50周年記念行事が開催されました。開式の言葉からはじまり、園長のお祝いの言葉、職員お祝いの言葉、参加ご利用者からお祝いの言葉、永年在園利用者記念品の贈呈、静光園園歌合唱、閉式といった流れで行事が進行していききました。みなさん、厳粛ながらも温かい拍手をされ一緒にお祝いをしました。

を行っていましたが、今回は久しぶりに1階ホールに各階の皆さんが集合しての全体行事を行う事ができました。あるご利用者からは、「久しぶりにホールに来たね」や「いつも上からホールは見ていたけど来るのは初めてだよ」と言った声が聞かれ、全体での行事が行えなかった時間の長さを物語っていて、今回の行事でコロナ禍前の全体行事風景が戻ってきた事を実感できました。

コロナ禍で全体での集まっていた大きな行事が行えなかった3年3カ月という時間は戻る事はありませんが、今回を機に園全体での行事を再開していきます。

この50周年記念式典の節目を当たり前の生活を取り戻すスタートしたいと思います。



来賓祝辞
浜松市健康福祉部介護保険課長
大村 貴弘 様



来賓祝辞
小沢渡西自治会副会長
鈴木 幸隆 様



来賓祝辞
浜松市社会福祉施設協議会老人部会長
水谷 秀夫 様



来賓祝辞
静岡県老人福祉施設協議会会長
種岡 養一 様

ありがとう 静光園!!

波紋の会 荻野英子先生

開園50周年おめでとうございます。

静光園が50年ということは、私のボランティア歴も50年ということになります。静光園の開設以前から、天竜厚生会へ慰問に行くなどの活動をしてきましたが、「ボランティア」として活動を始めたのは、やはり静光園が出发点でした。

静光園を活動拠点として今まで続けてくることができたのは、創設者の平野綾子先生、山田修先生が同じカトリック教会の信者であったこと、いつも神さまの愛に守られてきたことが大きく作用していると感じています。

現在では小沢渡町に引っ越ししましたが、根洗町の静光園が建っていたところの道沿い（現・青葉の家）に、いつも山田先生が口にしておられた聖書の一節「喜ぶ人と

共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」（ロマ書12章）という、ひかりの園の法人訓となった言葉が石碑となって、今も道行く人たちに語りかけています。

一口に「50年」と言うのは簡単ですが、いろいろありました。音楽レクリエーションの時ある寮母さんがご利用者から「子どもの歌ばかりでなく、元氣な軍歌を歌って」と言われ、軍歌では戦争のつらい記憶が蘇り、体調を崩すご利用者があり、（もう音楽レクリエーションは止めよう）と心に決めて帰ろうとした時、「先生、私たちを見捨てないで下さい」とご利用者に声を掛けられハッとしたことがあります。大げさに聞こえるかもしれませんが、私たちが、私たちは「あなたは音楽レクリエーションを楽しみに待っている人たちを見捨てるのですか」と、神さまに問われた気がしました。だからそれ以来、何があっても待っていてくださる人がある限り、音楽レクリエーションを続けようと決心し五十年経ちました。

コロナ禍のため三年間中断していた音楽レクリエー

ションですが、やっと四月から再開しました。よい音楽レクリエーション仲間にも恵まれ、神さまに守られて私は静光園に育てられ生かされてきました。いつも感謝しています。

ありがとう静光園!!

開園50周年 お祝いのメッセージ

前静光園園長 山中康義

静光園開園50周年、誠におめでとうございます。

栗本園長をはじめ職員の皆さんには、ご利用者の日々の生活を献身的にお支え下さりお礼申し上げます。

そして現在静光園を支えて下さっている皆さん、またこの50年の間に静光園に職員やボランティアとして関わってくださった全ての方々に感謝いたします。特にこの3年間は新型コロナウイルスの流行で、心身ともにご苦労があったことでしょう。しかしご利用者にその不安を感じさせないよう、毎日明るく接して下さったことに心から敬意と感謝を申し上げます。早くマスク越しの笑顔ではなく、3年前までのように直接笑顔を交わし合える時が来ることを祈っています。

私は、縁あって昭和55年4月に静光園と出会い、以来40年にわたりお世話になりました。家庭の事情で3年前に静光園を退職しましたが、栗本園長はじめ頼もしい職員たちがこれから先も静光園の明るい未来を築いてくださることを信じ、安心して職場を離れることができました。また未熟な私を支えて下さった皆さんに心からお礼申し上げます。静光園の長い歴史にかかわれたことは私の人生の誇りであり、静光園そしてご利用者、職員、ボ



静光園の思い出
これまでを振り返るスライドショウ



永年ボランティア感謝状贈呈
永年ボランティアへの感謝



ランティアの皆さんとの出会いは全て大切な思い出です。

職員の皆さん、これからも法人の理念（法人訓）であるご利用者に寄り添う介護を大切にして、静光園の素晴らしい未来を支えていってください。皆様のご健康とご活躍を心からお祈りしています。

50年の感謝を込めて そして未来へ!!

静光園園長 栗本昌紀



施設長謝辞
静光園施設長
栗本 昌紀

今から54年前に、平野綾子先生をはじめとする三人の方々が目のご不自由な人たちの老後の生活に思いを馳せられたところから静光園の歴史が始まりました。

高齢者福祉法が制定されてから10年ほど経った時期でしたが、当時の浜松市には特養がまだ一軒もなく、静岡県県の要請、ご指導もあり、目のご不自由な方々に特化するのではなく高齢者全般を対象とした50のベッドを備えた特別養護老人ホームとして認可を受け、施設としての第一歩を踏み出したのは昭和48年4月25日でした。

それから今年で50年という歴史を積み重ねてきまし

た。

その間には、幾多にわたる増床や、発祥の地根洗から小沢渡への新築移転、それに伴う100名のご利用者の二日がかりの引っ越し、措置から介護保険制度への転換、最近では新型コロナウイルスのクラスター発生などいろいろなことがありました。

その都度、監督官庁の温かいご指導や地域の方々のご理解・ご協力、ボランティアの方々の方々の献身的な活動によって支えられてきたことは言うまでもありません。心から感謝申し上げます。

そうした皆様からのお力添えを得て、初代の平野園長から、佐久間、松本、山中という4人の施設長が、その時代時代を的確にとらえた采配を振ってこられ、全職員が一丸となって「ご利用者のために」という一心で歩みを進めてきた50年であったと思っております。

実は、本日ご臨席がかなわなかった方々の多くは、根洗町当時から長い間支え続けて下さっている方々なのです。そうした方々から、高齢のため出席が難しいというお返事をいただき、改めて50年という時の流れ、重さを感じさせられました。

私は、静光園の一職員としてこの節目の年を迎えることができたことに誇りを持ち、これまでの皆さんのお力



永年勤続職員記念品贈呈
永年勤続職員への感謝



新規資格取得者記念品贈呈
新規資格取得者へのお祝い

添えにあらためて感謝の気持ちをお伝えすることができるところを大変ありがたく思っています。

しかし、昔を懐かしんでばかりはいられません。

戦後生まれの方々、後期高齢者の年代になられるという大きな転換期を迎え、さらには少子高齢化の想像以上の進展に伴い、高齢者の暮らしを支えていく若者世代の確保が非常に難しい今の時代に、先人たちが築き上げてくださった静光園の歴史に、「時代に沿った未来」をどのようにイメージし重ねていけばよいのか。大きな大きな課題です。

豊富な経験や知識、スキルを持ったベテラン職員をはじめ、新たに介護福祉士の資格を取得しこれから現場での毎日が実技試験の繰り返しという若手職員と一緒に、私たちも先輩方を見習い、一丸となって「ご利用者のために」を旗印に精一杯努力を重ねてまいります。



ご利用者との開園 50 周年記念



職員祝辞



職員お祝いの言葉



2023年度 永年勤続表彰対象者

10 年										20 年										30 年		40 年			
根洗学園		なごみの家		たつく		協働学舎		第三静光園		第二静光園		静光園		根洗学園		協働学舎		第三静光園		根洗学園		たつく		40 年	
松井	岡田	宮道	寺澤	堀内	小嶋	森田	森山	向田	高山	山木	波多野	佐藤	鈴木	水野	稲垣	松原	鈴木	角田	菊池	永田	白柳	袴田	古田	京極	浜子
久美子	照美	さとゑ	和美	智美	紀代子	ひとみ	懂子	忠	まつ子	淳一	晴香	佳美	和子	哲	慶美	順子	奈美江	由枝	春子	竜也	亮祐	静香	規美子		

新入職員のことば

私の好きなこと



みによんのストロベリー
インペリアルを美味
しくいただくこと！



グループホームすてっぴ 辻 潤太郎



美味しいものを
食べることが好き！



グループホームすてっぴ 村松 沙智子



仕事を終えたあとの
ビールと餃子！



グループホームすてっぴ 村澤 修子



音楽鑑賞

こもれびの家 向井 由樹



愛車で
サッカー観戦、
旅行に出かける
ことです。



こもれびの家 有賀 吉穂



バスケットボール
観戦

たっく 瀧 楓



パズル

たっく 大場 菜々



映画を見ること



根洗学園 仲谷 咲良



北海道
母の出身地なので、よく訪れています！
ただ寒いのは苦手です。

根洗作業所 鈴木 幸恵



ミュージカル

根洗寮 堀尾 杏奈



漫画や本を読むことが
大好きです！！

根洗寮 宮津 優里奈



フィルムカメラで
写真を撮ること

根洗寮 大村 明日香



ヘアアレンジ
メイクをする

青葉の家 井村 翼沙



楽
どうせ生きるなら楽しいほ
うがいいと思うので、休
みの日に掃除を済ませてから
テレビの前に座ってお菓子
を食べながらドラマを見る
こと

第二静光園 清水 眞由美



寝
体を休めて、自分だけの
空間でゆっくりするのが
好きです。

第二静光園 塩澤 風花



私の好きなこと
鉄道旅を楽しむことです

第三静光園 浅尾 裕



私の好きなこと
好きなものを思う存分
食べることです

第三静光園 太田 智緒



私の好きなこと
お酒を飲んで、朗らかな気分
になるのが好きです。

第三静光園 今田 訓久

根洗作業所開設40周年に寄せて

根洗作業所
所長 平野貞裕

根洗作業所は今年で創立40年を迎えました。これまで根洗作業所を支えてくださったご利用者、地域の方々、職員の皆様に心から感謝申し上げます。

根洗作業所は1983年4月に、根洗学園（当時は18歳未満の児童が通所できる施設でした）を18歳で卒業するご利用者が引き続き通所できる受け皿として、根洗学園の一角を借りて開設されました。当初は県と市の補助を受けて、浜松市手をつなぐ育成会の運営による無認可の小規模授産所としてスタートしましたが、翌年にはより専門的な支援を提供するためにひかりの園が運営を引き継ぎました。その後、市内から多くの仲間が集まることとなり、1989年に根洗学園から独立し、

移転するとともに、青葉の家を併設して浜松協働学舎の体制として再スタートしました。長く無認可事業として苦しい運営が続いていましたが、2006年10月の障害者自立支援法（現在の総合支援法）施行により、障害福祉サービス事業所の指定を受け、現在に至っています。

浜松協働学舎で最初に設立された根洗作業所は「働くことを通じて社会に参加しよう」という合言葉のもと、今日まで歩んできました。現在、浜松協働学舎は根洗作業所のほかに青葉の家や浜松協働学舎根洗寮など11の事業を展開し、約

200名のご利用者と約200名のスタッフが活動する場になっております。

根洗作業所は、浜松協働学舎の授産活動を牽引する事業所として、40年にわたり、ご利用者と職員が一体となって「働くこと」を中心に活動を続けてきました。根洗作業所の使命は、障がいのあるご利用者に安心できる居場所を提供し、活躍できる場を創り出すことです。

「働くことはノーマルであり、働くことは幸せである」という文化をこれからも継続しながら、どんなに障がいが高くても働くことを通じて社会に参加して、社会の一員として貢献できる取り組みを目指していきたいと思っています。



新施設長紹介

生活介護事業所 工房めい
所長 大橋 奈実世



「ともに」をご覧の皆様、地域の皆様、日頃より温かいご支援とご協力をいただき、心よりお礼と感謝を申し上げます。

この度、2023年3月31日付けをもちまして浜松協働学舎根洗寮寮長を退任し、4月1日より生活介護事業所工房めいの施設長に就任いたしました。

さて、工房めいは新築移転（根洗町内）の計画がございます。2025年4月のオープンに向け、新しい施設は障がいの重度化、高齢化に対応した機能を充実させ、ご利用者のより充実した日中活動の場のサービスの向上を実現することを目指して準備を進めております。この目標を実現するために職員一丸となって準備を進めていきたいと考えております。皆様から信頼される施設となれるよう日々努力して参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



浜松協働学舎 根洗寮
寮長 村松 徹弥



この度、浜松協働学舎根洗寮の寮長に就任いたしました。根洗寮には、平成10年の6月からお世話になっておりますので、ちょうど25年となります。根洗寮の

ご利用者と共に人生の半分近くを過ごしてきました。根洗寮のご利用者、短期入所を利用される地域の皆様が、日々安心して暮らす場をつくるために、前任の根洗寮寮長であった工房めいの大橋所長をはじめ、浜松協働学舎の生活介護、グループホーム、相談支援事業所の職員とともに協力して、よりよい施設運営を目指し、日々精進してまいります。引き続き皆様のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



寄付

「小さな親切運動」静岡県本部様 ありがとうございました

第三静光園

「小さな親切運動」静岡県本部様より、車椅子とプラスチックグローブを寄贈していただきました。車椅子は、ご利用者個人に使用していただくことや、受診、ショートステイの送迎時、ちょっと近所までお散歩の時などの移乗手段として、幅広く使用させていただきます。プラスチックグローブは装着しやすいため、感染症対策の他、生活介助時にも有意義に使用させていただきます。ありがとうございました。



今年度のひかりの園決算書・現況報告書・役員名簿・役員報酬規程などご覧になりたい方は、当法人ホームページ（アドレス）「<http://www.hikarinosono.or.jp/>」または、インターネットの検索ページにて「ひかりの園」を検索し、トップページの一番下にある「外部リンク」のバナー「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」よりダウンロードしてください。また、定款等に関しましては「ひかりの園とは」→「新着情報」かまたは、「全ての新着情報を見る」にてご覧ください。パソコン等の設備がないなどの場合は、当法人本部「浜松市根洗町 681 番地の 5（要電話連絡 053-437-8289）」までお越しください。



2023年度 法人研修大綱

詳細につきましては、別途研修開催要綱を都度事業所宛に送信いたします。

キャリアパスのための大切な研修です。職員の積極的な参加促進をお願いいたします。

※ステップはあくまでも新規入社の方向けになります。

既存職員は適宜受講をお願いします。

日 程	研修内容	
4月3日 月曜日 8:30 ~ 17:30	(新任) 法人基礎研修 (一次) (施設紹介・辞令交付・接遇マナーその1) 場所: 第三静光園かわせみホール	済
5月19日 金曜日 8:30 ~ 17:30	(ステップ2・3) コンプライアンス研修 場所: 第三静光園かわせみホール	済
6月16日 金曜日 13:00 ~ 17:30	(ステップ1) 「OJT講座」 場所: 第三静光園かわせみホール	済
7月14日 金曜日 13:00 ~ 17:30	(ステップ3) 事故対応、労務などのリスクマネジメント研修 場所: 第三静光園かわせみホール	
8月26日 土曜日 13:00 ~ 17:30	法人合同研修 (永年勤続者表彰・講演) (全職員向け) 講演「音環境について考える」 場所: 未定	
9月15日 金曜日 13:00 ~ 17:30	(ステップ2) 「フレームワーク研修」 場所: 第三静光園かわせみホール	
10月13日 金曜日 9:00 ~ 12:00・13:00 ~ 16:00	(新任) 法人基礎研修 (二次) (接遇その2) 場所: 第三静光園かわせみホール 同日2回開催。勤務都合によりどちらかを選択。	
11月17日 金曜日 13:00 ~ 17:30	(ステップ1) コンプライアンス研修 場所: 第三静光園かわせみホール	
1月19日 金曜日 13:00 ~ 17:30	(ステップ2・3) 「定着力面談スキル研修」 場所: 第三静光園かわせみホール	
2月16日 金曜日 13:00 ~ 17:30	(ステップ2) 「ファシリテーション研修」 場所: 第三静光園かわせみホール	

(ステップの目安) 新入は0年、ステップ1は入社1~3年程度で新任職員を教育する側になる職員向け
ステップ2は入社4~7年程度で主に現場をまとめるリーダー職員向け
ステップ3は入社8年以上で主に管理職員向け

ひかりの園後援会		
河合 和子	株式会社鈴木電工	澤田 保夫
有限会社山三商事	静岡銀行 三方が原支店	鈴木 正弘
株式会社飯尾建築設計事務所	株式会社アマノ	新屋 裕三
西塚 紀男	愛管株式会社	高田 史待
長谷川敏夫	内田 晴行	恒星電気株式会社
御手洗幸江	堀内 孝修	藤本 修子
株式会社 トヨタレンタリース浜松	相曾 太	松本 錦是
フジ産業株式会社 静岡支店	柴田 久子	内田 康弘
株式会社大建	須山建設株式会社	峰野 浩一
田村 勇次	戸塚 正一	佐々木忠夫
株式会社マルマ	榊原 伸泰	渡邊はま子
井内恵美子	中村建設㈱	※順不同 敬称略
和久田淑子	取締役 竹村 寧	
平澤 道好	門奈 文男	

この他、お名前のご掲載を希望されなかった方々からも多くのご寄附をいただいています。

2022 年度 苦情内容等施設別報告

◎苦 情 (要望・提案等を含む)

受付状況 (2022 年 4 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日)

内容	静光園	第二静光園	第三静光園	根洗寮 (工務だん)	根洗作業所 (三ボウル)	青葉の家	こもれびの家	ほろろばらっと	すてつぷ	工房めい	工房ゆう	工房ニオ	まど	根洗学園	たつく
説明・情報提供不足	1				1									3	
手続きの方法の不明															
サービスの内容				1		1	1(1)								
職員の言葉・態度										2	1			6	
権利侵害				1											
被害・損害															
利用者間のトラブル								1							
環境の問題															
その他	2													1	1
合計	3	0	0	2	1	1	2	1	2	1	0	10	1		

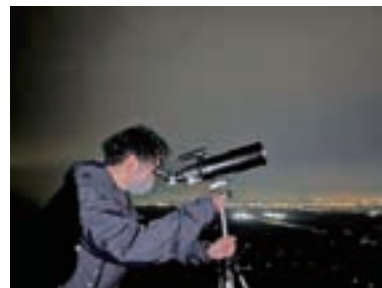
私たち、ひかりの園の職員です。



こもればの家
内藤 祐樹

新卒でこもればの家に入職して4月で7年が経ちます。現在は、モクレンクラスで7名のご利用者の支援をしています。ご利用者のできることが増えたり 楽しく過ごしている姿を見たりすることで、仕事に対してやりがいを感じています。私は入職前から、人や社会のために役に立つ仕事を志していました。数ある職業の中で「自分にできることは何か？」を考え、見出した答えが福祉の道でした。初めはうまくいかないこともありましたが、先輩方に親身に相談に乗っていただいたり、フォローしていただき、入職以来、入社する度に不思議と心躍り毎日が楽しいです。

休日は、運動をしたり、各地の絶景スポットに行ったりリフレッシュしたりしていましたが、コロナが流行ってからは、読書や天体観望をすることが新たな楽しみになりました。読書では、物語の主人公に感情移入するあまりふと感動して涙する瞬間もあります。読み終わった後に来る、寂しさや喪失感の余韻がたまらなく好きです。天体観望は、自分の想像もつかないような遠くにある星を眺めていると、自分の悩んでいたことや困っていたことがちっぽけに思えてきます。高台や砂浜といった眺めの良い場所で空を見上げると、夜空に包み込まれるような感覚になります。宇宙というものは解明されていない謎が多く、男心をくすぐるロマンの塊というところも好きなポイントです。これからも、仕事とプライベートで様々な事に挑戦し、充実した毎日を過ごしていきたいです。



たっく
堀内 智美

食育すること、身体を動かすこと、ドライブ、温泉、トンボ玉や石を選んでアクセサリーを作ること・・・私には、好きなことがたくさんあります。ドライブ中「曲がる所を間違えちゃった」と道に迷ったり、手作りアクセサリーを作った時には「この部分をこうするとよかったなあ」と出来上がりを見て思うことがあります。「ワクワク」「ドキドキ」「あれれ～」などの思いと一緒に体験を楽しむことで「もう一度行きたいな」「もっとやりたいな」と行動に繋がっています。

子ども発達センターたっくの開所当時から勤めて10年目になります。たっくを利用している子どもたちも好きなことがたくさんあり、興味や関心を示しながらいろいろな表情を見せ、表出します。その好きなことを触れたりしながら、共感したり「こうかな」「なんだろう」と一緒に考えたりしています。日々の療育とともに、保護者とお話することや関係機関との連携も子どもたちを支える環境としてとても大切だと感じています。今後も向上心を持ち、「もう一度」「もっと」に繋がるように、いろいろな経験を積んでいきたいと思います。



第三静光園
大野 孝子

私の前職は、工場勤務でした。「リストラ」という言葉の渦に巻き込まれた私は、職業安定所のヘルパー2級取得コースに参加し、修了後、第三静光園のデイプラザで働くことになりました。

聞いた通り、アットホームなのんびりとした雰囲気、ご利用者お一人おひとりがゆっくりとゆったりと時間を過ごされている姿にホッとした思いで働かせていただき、9年近くの年月を過ごしてきました。

ご利用者、そのご家族の方々皆さんの心配なこと、不安なこと、様々な気持ちを感じることもあります。私自身も今実母の介護をしております。自分がフツと思いつめた時、イラッとしてしまった時、複雑な気持ちが湧いてきた時は、寄り添ってくれる人、話を聞いてくれる人がそっと隣に居てくれたなと思います。ご利用者、ご家族の方々も同じ思い、気持ちを感じている事でしょう。そういう人になれたらいいなと思っています。

今は親の介護をしているので、ゆとりが出来た時には、本屋さんに足を運び、手芸、料理、雑誌、健康の本などを眺めたり、百均に足を運び折り紙や刺子のキット（花ふきん）を購入し、チクチク針仕事をしたり、折り紙を折ったりしています。



支援のワンポイント

保育所等訪問の進め方

根洗学園のような児童発達支援センターに通いながら、一般の幼稚園や保育園に通っている子どもたちがいます。また、学校に通いながら放課後等デイサービスを利用している子どもたちがいます。このような福祉サービスを利用している人は保育所等訪問支援事業が利用できます。

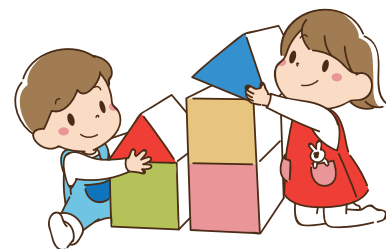
保育所等訪問支援事業は、平成24年4月にスタートした国の公的サービスで、住み慣れた地域で共に暮らす社会（インクルーシブル社会）の実現を目標に作られたものです。

事業の内容としては、園（幼稚園、保育園、子ども園）や、学校（小学校、中学校）に専門スタッフが訪問し、集団参加の様子や友達との関わりなど保護者さんが気になるところを中心にお子さんを観察し、専門的な支援を提供するものです。保護者さんからの申し出によって行うサービスになります。

例えば、保護者さんが「うまく幼稚園で馴染んでいないのか不安だ。先生の話聞いて行動ができているのか気になっている。友達との関わりがうまくいっているか気になる。幼稚園での様子を見てきてほしい」という要望を相談支援事業所、もしくは保育所等訪問支援事業を受けている事業所に伝えます。保護者さんからの要望を受けたら詳しく話を伺い、園と連絡を取り訪問日を決めます。連絡を取った時には園での様子を見させてもらうだけでなく先生とお話をする時間も設定しています。幼稚園の先生との話をする中で、具体的に関わり方のアドバイスや環境設定なども提案しています。例えば、子ども集団の人数や先生の話をする位置などの配慮がないと、子ども達の困り感や過剰にくさにつながることもあり、子どもの椅子の向きや座る位置を工夫するだけでも先生の話に注目しやすくなることがあります。

訪問の様子や先生とお話したことは、後日保護者さんに報告をします。訪問の回数は学期毎に1回ずつの方もいますし、行事の前の様子が気になるからと行事前に希望する方等、様々です。少しでも子どもたちが楽しく園や学校に通える、保護者さんが子ども達を安心して園に送り出せるよう利用してみるのも良いと思います。

対象は福祉サービスを利用されていて、かつ保育所等訪問支援のサービスを受給しているお子さんとなりますので、利用を考えた方は担当の相談支援事業所に相談をしてください。



社会福祉法人 ひかりの園の概要

理事長 秋山正和
法人本部 事務局長 太田敏明
〒433-8108 浜松市北区根洗町 681-5
TEL(053)437-8289 FAX(053)430-0819
Eメール info@hikarinosono.or.jp

特別養護老人ホーム 静光園 園長 栗本昌紀 ☎ 053-445-1300	児童発達支援センター 浜松市根洗学園 園長 松本知子 ☎ 053-436-9318	生活介護 こもれびの家 所長 上甲俊介 ☎ 053-439-8235	グループホーム ラポール根洗 寮長 坂中タ也 ☎ 053-420-1325	グループホーム コムニオ湖東 寮長 杉山早百合 ☎ 053-485-4600
養護老人ホーム 第二静光園 園長 柏原栄作 ☎ 053-428-3128	児童発達支援センター 子ども発達センター たっく 園長 西尾崇嗣 ☎ 053-485-6122	生活介護 工房めい 所長 大橋奈実世 ☎ 053-430-4710	グループホーム すてっぷ 寮長 大橋正季 ☎ 053-570-1702	
特別養護老人ホーム 第三静光園 園長 家現多加志 ☎ 053-436-8888	生活介護 根洗作業所 所長 平野貞裕 ☎ 053-436-5529	生活介護 工房ゆう 所長 鈴木秀明 ☎ 053-570-1310	グループホーム こもれび 寮長 今田博貴 ☎ 053-439-6800	
小規模多機能型居宅介護事業 なごみの家 管理者 和久田勝教 ☎ 053-445-1753	生活介護 青葉の家 所長 藤井良之 ☎ 053-570-1700	障害者支援施設 浜松協働学舎根洗寮 寮長 村松徹弥 ☎ 053-430-0596	相談支援事業所 まど 所長 鈴木宏幸 ☎ 053-570-1312	



ひかりの園ホームページ
<http://www.hikarinosono.or.jp/>

編集後記



コロナウィルスによる制限ある生活も、やっと緩和され以前の生活を取り戻しつつあります。第77号の中にもあるように、「コロナが明けたらまずしたいこと」ができる日が来た時には、ともにの記事で読ませていただき、みなさんと一緒に楽しい・うれしい気持ちを共有できる事を楽しみにしています。

根洗学園 村上 亜弓